

0259

(限 内 部)

海軍公報 (部内限) 第四千百十號

昭和十七年六月八日(月)

海軍大臣官房

海軍大臣

○令 達

官房第三四九二號

昭和十七年度歳入科目中左ノ通追加ス

昭和十七年六月六日

海軍大臣

臨時部

款 項 目 解 疏

會計科目
電信略號

雑收入

受託造修
收入

海軍受託
造修收入

ス

キ

ユ

官房機密第六九二七號

驅逐艦大潮舞鶴ニ在ル間同艦ノ給與其ノ他ノ經費支拂

舞鶴海軍經理部ヲシテ之ヲ掌理セシム

昭和十七年六月六日

○通 牒

官房機密第六九四六號

昭和十七年六月六日

海軍次官

關係廳長殿

昭和十八年度陸軍戰時召集延期者ニ關スル件申進

豫備役、補充兵役及國民兵役ニ在ル陸軍軍人(徵兵終決處分ヲ經ザル者及昭和五年以前ニ徵兵終決處分ヲ行ヒタル第二國民兵役ヲ除ク)ニシテ戰時余人ヲ以テ代フベカラザル者及特殊ノ雇員、傭人、工員、傭員ニシテ戰時必要缺クベカラザル者ヲ左記ニ依リ調査選定ノ上別紙様式ニ依リ名簿ヲ調製シ六月末日迄ニ到達スル様通報相成度

記

海軍公報 (部内限) 第四千百十號 昭和十七年六月八日

五八九

- 一 召集延期者ノ申請標準員數
各廳召集延期者申請標準員數ハ別表第一ノ通トシ各課(係、科、工場等之ニ準ズルモノ以下同ジ)ヘノ配分ハ其ノ重要度ニ應ジテ爲スモノトス但シ特別ノ事由アル場合ヲ除クノ外一課當リノ最高配分員數ハ左ノ標準以內トス
- 豫備役、補充兵役 當該兵役關係者全員ノ六割
- 國民兵 役 當該兵役關係者全員ノ九割
- 二 召集延期者ノ選定
(イ) 召集延期者申請標準員數ハ變更ヲナサザルニ付召集延期者ノ選定ニ當リテハ特ニ慎重ヲ期スルモノトシ概ネ左ノ各號ノ一ニ該當シ緊要缺クベカラザル配置ニ在リテ餘人ヲ以テ代ヘ難キ者ノ内ヨリ嚴選スルモノトス
- 1 海軍技師及海軍技手
- 2 海軍工員規則附表第一號工員職種名番號一乃至六、八乃至三十、三十三乃至三十五及三十八ニ屬スル工員ニシテ直接該工事ニ携ハリ其ノ配置ニ在ルコト一年以上ノ者
- 3 第一號以外ノ海軍文官ニシテ必要缺クベカラザル者

豫備役兵	豫備役將校	役種	資格
	下士官	資	格
支那事變以後現役滿期シタル豫備役兵ニ在リテハ支那事變以後二年以上「應召」シタル者		支那事變以後二年以上「應召」シタル者	
支那事變以後現役滿期シタル豫備役兵ニ在リテハ三年以上「在隊」シタル者		支那事變以後現役滿期シタル豫備役兵ニ在リテハ三年以上「在隊」シタル者	

<p>補充兵 支那事變以後二年以上「應召」シタル者</p>		<p>備考 「應召期間」ノ計算ハ應召、召集解除ノ月ヲ、「在隊期間」ノ計算ハ入營、除隊、應召、召集解除ノ月ヲ夫々滿一月トシテ計算スルモノトス</p>	
<p>(ロ) 將校、准士官並醫師免許證、藥劑師免許證、齒科醫免許證又ハ獸醫師免許證ヲ所持スル下士官、兵ハ特ニ必要缺クベカラザル者ノ外召集延期者該當者トシテ選定セザルモノトス</p>		<p>(ハ) 服役第一年次ノ補充兵ハ召集延期該當者トシテ選定セザルモノトス</p>	
三 通 報			
調製區分	通報先	通數	
昭和十八年度召集延期者關係調査表 (様式第一)	海軍省 兵備局長 本籍地所	各二	
兵召集延期者名簿 (様式第二)	海軍省 兵備局長 本籍地所	各二	
准士官、下士官召集延期者名簿 (様式第三)	海軍省 兵備局長 本籍地所	各二	

<p>備考 一 通報後新任、轉免等異動アル時ハ其ノ都度通報スルモノトス 二 所管師團名ハ別表第二陸軍管區表ニ依リ記載スルモノトス</p>		<p>佐、尉官召集延期者名簿 (様式第四)</p> <p>管師團長</p>	<p>將官召集延期者名簿 (様式第五)</p> <p>海軍省 兵備局長</p> <p>四</p>	<p>召集延期者異動名簿 (様式第六)</p> <p>海軍省 兵備局長 寫二</p> <p>本籍地所 管師團長</p> <p>様式第六ノ註意上ノ項ニ依ル</p>
<p>四 内地以外ノ地ニ於ケル召集延期事務ノ處理 左表各地域ニ在ル應ニ對シテハ内地配當人員ノ範圍外トシテ夫々當該陸軍司令官又ハ最高指揮官別途召集延期者該當者ヲ調査決定スルニ付左表所掌部門ニ於テ協議ノ上各應ニ對シ召集延期者員數ヲ配分スルモノトス</p>		<p>所 掌 部</p> <p>海軍省 陸軍部</p>	<p>申請應</p> <p>海軍省 陸軍部</p>	<p>地域</p> <p>海軍省 陸軍部</p>

海軍公報 (部内限) 第四千百十號 昭和十七年六月八日

五九一

0261

朝鮮	鎮海警備司令部	朝鮮軍司令部
臺灣	馬公警備司令部	臺灣軍司令部
關東州 (滿洲國ヲ含ム)	鎮海警備司令部	關東軍司令部
北支那	支那方面艦隊司令部	北支派遣軍一八〇〇部隊
中支那	支那方面艦隊司令部	支那派遣軍總司令部
南支那 (香港澳門ヲ含ム)	支那方面艦隊司令部	南支派遣波一八〇〇部隊

(別表二葉様式六葉添)

備考 現地海陸軍間ノ取り決メハ海軍省兵備局長ニ通報スルモノトス

海人第九七號

昭和十七年六月五日

海軍省人事局

部内各廳御中

現役海軍士官名簿(追録共)電報符號使用期日ノ件通知

昭和十六年十二月一日調現役海軍士官名簿(追録共)ノ電報符號使用開始期日ヲ六月十日ト定メラレ候

經豫機密第三號ノ七二

昭和十七年六月一日

海軍省經理局長

關係各所(轄長、) 殿
支出官、資金前渡官吏

ボンド軍票ノ使用取扱ニ關スル件申改正ノ件通牒

本年經豫機密第三號ノ二八通牒申第七號ヲ左ノ通改正候條了知相成度

記

七、濠洲委任統治領ニ於ケル固有補助通貨單位中「シルリング」ハ十「ペンス」トスル十進法ヲ採用シ「ペンス」及十二「ペンス」ハ之ヲ使用セザルコトトス從ツテ固有補助通貨ト邦貨補助貨トノ關係ハ左ノ如キ率トナル

邦貨補助貨	濠洲委任統治領固有通貨
三十錢	六「ペンス」
十五錢	三「ペンス」
五錢	一「ペニー」

0262

二錢五厘		半「ペニー」	
ボンド軍票二分ノ一「シルリング」ハ二十五錢ナルヲ以テ固有補助通貨五「ペンス」トナル 經物第一一四號 昭和十七年六月六日 海軍省 經理局長 關係各廳長殿 前金拂又ハ概算拂契約者ニ關スル件通知 昭和十三年三月經物第一〇六號第一項第四號ニ依ル首題ノ件左記ノ通承認致候 記			
會社名	所在地	株式會社三喜本鐵工所	東京市本所區錦糸町一ノ一九
田中車輛株式會社	布施市大字橋本一ノ一	第一相互住宅株式會社	大阪市東區今橋二ノ一
朝鮮無煙炭株式會社	朝鮮京城府本町一ノ五三ノ一	水垣食品工業公司	海南島海口市龍英鄉
株式會社池田組	東京市麴町區丸ノ内三ノ八三 菱仲八號館	馬淵鐵工株式會社	橫須賀市深田町三四八
日加木材株式會社	彦根市觀音堂筋町七	波多野精機株式會社	大阪市西淀川區御幣島三五二
吉川機械製作所	大阪市旭區關目町二ノ三二七	大阪ビストンリング製作所	大阪市此花區恩貴島南元町一八六
株式會社阪本鐵工所	神戸市兵庫區東出町一ノ一四	合名會社穗積組	青森縣三戸郡三戸町大字梅内字同心町平四ノ四號
小林吉次郎(小林商店)	東京市本鄉區春木町二ノ五三	株式會社桐ヶ谷製作所	東京市深川區海邊町一九ノ八
合資會社增嶋工作所	東京市城東區南砂町七ノ七三八	○ 辭令 千四百四拾圓 中村 季秋 千參百貳拾圓 町田 憲二 千貳百六拾圓 小林 隆之	

海軍公報(部内限) 第四千百十號 昭和十七年六月八日

五九三

0263

千貳百圓	堀越 恒	海軍機關少佐	猪原 武城
千百四拾圓	中嶋 保雄	海軍軍醫大佐	本間 正人
千百四拾圓	木村 榮一	同	小林 滿男
千百四拾圓	小山 忠七	同	木庭 保喜
千百四拾圓	横地 千里	同	松見 茂雄
千八拾圓	野嶋 幸雄	同	大田川 肇
九百拾貳圓	陸軍衛生軍曹 春日 徹郎	同	山下 清
八百六拾四圓	陸軍衛生軍曹 田村 隆吉	海軍軍醫中佐	古谷 伍太郎
八百六拾四圓	陸軍衛生軍曹 館脇 正治	同	福原 文雄
徵用中年額各頭書ノ通ヲ給シ部内限奏任官待遇トス	(五) 海軍省	同	首藤 三八
(各通)	臺北州警部 土屋 通雄	同	木村 正雄
	臺北州警部補 早田 喜久雄	同	遠藤 春雄
	新竹州警部 糸島 熊次郎	同	日下志 純一
	臺中州警部 目黒 五郎	同	秋山 爲次
	臺中州警部補 陣内 喜太郎	同	細川 才市郎
	臺南州警部 上田 光雄	同	村上 倫吉
	高雄州警部 男澤 文男	同	中村 博郷
海南警備府附ヲ免ス(七二四同)	海軍少將 森 徳治	同	藤木 愿
	海軍中佐 猪口 力平	同	藤井 茂雄
		同	勝田 軍治
		同	河合 榮

海軍軍醫大尉	八代 正雄
同	宮崎 五郎
同	酒井 正
同	佐々木 鐵也
同	松島 眞平
同	羽生 敏久
同	山縣 穎三
同	石崎 學
同	朝日 薫
同	樋口 堅
同	關 龍雄
同	齋藤 良作
同	福田 通男
同	上野 直一
同	大矢 迪雄
海軍藥劑少佐	中野 勇
昭和十七年度海軍武官任用臨時委員ヲ命ス(防海軍省)	
海軍造機中佐	若林 幸二
購買名簿調査委員會委員ヲ命ス(防海軍省)	

第五課勤務ヲ命ス(防海軍省經理局) 囑託 武井 立介

○ 雜 款

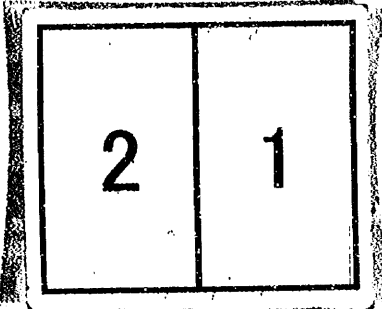
○郵便物發送先
自今左ニ依リ發送相成度
横須賀郵便局經由

第三十六軍用郵便所氣付(軍事郵便)
(驅 逐 艦 秋 風)

○事務所設置
呂號第百潜水艦艇裝具事務所ヲ五月三十日吳海軍工廠
内ニ設置シ事務ヲ開始セリ

○事務所撤去
伊號第三十一潜水艦艇裝具事務所ヲ五月三十日撤去セ
リ

分割撮影ターゲット

分割した部分の撮影順序	
分割撮影した理由	A3版以上のため
文書等名	昭和18年度召集延期者申請標準員数表
上記のとおり分割撮影したことを証明する。	

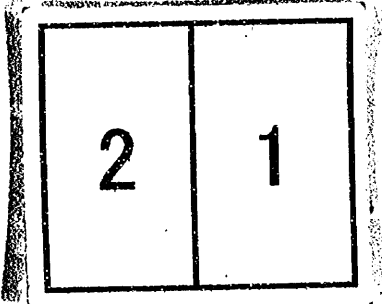
別表第一

昭和十八年度召集延期者申請標準員數表

(昭和十七年六月八日海軍公報(部内限))

應 名	申請標準員數		應 名	申請標準員數	
	甲種 乙種 計	國民 兵役 計		甲種 乙種 計	國民 兵役 計
軍令部	九	二	橫須賀海軍部	一五	六
海軍大臣官房	八	三	吳海軍軍需部	三	八
海軍省軍務局	五	一	佐世保海軍部	四〇	五〇
同 兵備局	五	一	舞鶴海軍軍需部	一六	四
同 人事局	四	一	大湊海軍軍需部	一	一
同 教育局	四	一	大阪海軍軍需部	一	一
同 軍需局	三	一	大湊海軍經理部	一	一
同 經理局	三	一	橫須賀海軍部	五	二
同 法務局	二	一	經 理 部	六	二
海軍運輸部	一〇	三	佐世保海軍部	二	八
大阪海軍運輸部	一	一	舞鶴海軍經理部	一	三
南方政務部	一	一	大湊海軍經理部	一	四
海軍文庫	一	一	吳海軍港務部	二	六
橫須賀鎮守府	一	一	佐世保海軍部	二	六
吳鎮守府	一	一	舞鶴海軍港務部	三	三〇
佐世保鎮守府	一	一	大湊海軍港務部	三	三〇
高等軍法會議	一	一	海軍施設本部	四	七
東京軍法會議	一	一	橫須賀海軍部	四〇	八
橫須賀鎮守府	一	一	吳海軍建築部	四	八
吳鎮守府	一	一	佐世保海軍部	四	八
軍法會議	一	一	舞鶴海軍建築部	四	八
佐世保鎮守府	一	一	大湊海軍建築部	四	八
舞鶴鎮守府	一	一	芝浦海軍建築部	四	八
大湊警備府	一	一	舞鶴海軍艦船部	四	八
軍法會議	一	一	海軍艦政本部	四	八
橫須賀海軍部	一	一	海軍航空本部	四	八
吳海軍刑務所	一	一	水 路 部	四	八
佐世保海軍部	一	一	海軍技術研究所	四	八
海軍大學校	一	一	海軍航空技術廠	四	八
海軍兵學校	一	一	第一海軍航空廠	四	八
海軍通信學校	一	一	第二海軍航空廠	四	八
海軍機關學校	一	一	第三海軍航空廠	四	八
海軍潜水學校	一	一	第四海軍航空廠	四	八
海軍醫學校	一	一	第一海軍燃料廠	四	八
海軍工機學校	一	一	第二海軍燃料廠	四	八
海軍工作學校	一	一	第三海軍燃料廠	四	八
砲術學校	一	一	第四海軍燃料廠	四	八
砲術學海軍	一	一	燃料廠補給部	四	八
橫須賀海軍	一	一	第一海軍工廠	四	八
航空隊	一	一	第二海軍工廠	四	八
霞浦海軍航空隊	一	一	第三海軍工廠	四	八
土浦海軍航空隊	一	一	第四海軍工廠	四	八
鹿島海軍航空隊	一	一	第一海軍燃料廠	四	八
百里海軍航空隊	一	一	第二海軍燃料廠	四	八
宇佐海軍航空隊	一	一	第三海軍燃料廠	四	八
岩國海軍航空隊	一	一	第四海軍燃料廠	四	八
聯隊航空隊	一	一	燃料廠補給部	四	八
橫須賀海軍部	一	一	第一海軍工廠	四	八
人海軍人事部	一	一	第二海軍工廠	四	八
金澤地方	一	一	第三海軍工廠	四	八
海軍人事	一	一	第四海軍工廠	四	八
吳海軍病院	一	一	第一海軍工廠	四	八

分割撮影ターゲット

分割した部分の撮影順序	
分割撮影した理由	A3版以上のため
文書等名	陸軍管区表
上記のとおり分割撮影したことを証明する。	

北	西										中										東										軍管區																		
部	部										部										部										師管																		
旭川	久留米		熊本			普通寺			廣島		姫路		大阪		京都			名古屋		金澤		仙臺		宇都宮		東京				聯隊區																			
豊原	釧路	函館	札幌	旭川	長崎	佐賀	福岡	沖繩	鹿児島	宮崎	大分	熊本	高知	愛媛	徳島	香川	山口	島根	廣島	鳥取	岡山	兵庫	和歌山	奈良	大阪	福井	三重	滋賀	京都	静岡	岐阜	名古屋	長野	富山	石川	新潟	福島	宮城	群馬	栃木	茨城	千葉	埼玉	山梨	神奈川	東京	管轄區	城	
太	釧路支廳、根室支廳	釧路市、帯廣市、十勝支廳、網走支廳	函館支廳、小樽市、渡島支廳、檜山支廳	札幌市、室蘭市、石狩支廳、膽振支廳	旭川市、上川支廳、宗谷支廳、留萌支廳	長崎縣	佐賀縣	福岡縣	沖繩縣	鹿児島縣	宮崎縣	大分縣	熊本縣	高知縣	愛媛縣	徳島縣	香川縣	山口縣	島根縣	廣島縣	鳥取縣	岡山縣	兵庫縣	和歌山縣	奈良縣	大阪府	福井縣	三重縣	滋賀縣	京都府	静岡縣	岐阜縣	名古屋縣	長野縣	富山縣	石川縣	新潟縣	福島縣	宮城縣	群馬縣	栃木縣	茨城縣	千葉縣	埼玉縣	山梨縣	神奈川縣	東京府	管轄區	城

別表第二 (昭和十七年五月八日海軍公報(部内限))

考 備	北 部										西 部										中 部										東 部																																							
	弘 前					旭 川					久 留 米					熊 本					善 通 寺					廣 島					姫 路					大 阪					京 都					名 古 屋					金 澤					仙 臺					宇 都 宮					東 京				
	山形	秋田	盛岡	青森	豊原	釧路	函館	札幌	旭川	長崎	佐賀	福岡	沖縄	鹿児島	宮崎	大分	熊本	高知	徳島	香川	山口	山根	廣島	鳥取	岡山	兵庫	和歌山	奈良	大阪	福井	三重	滋賀	京都	静岡	岐阜	名古屋	長野	富山	石川	新潟	福島	宮城	群馬	栃木	茨城	千葉	埼玉	浦和	甲府	山梨																				
縣	縣	縣	縣	太	縣	縣	縣	縣	縣	縣	縣	縣	縣	縣	縣	縣	縣	縣	縣	縣	縣	縣	縣	縣	縣	縣	縣	府	縣	縣	縣	府	府	縣	縣	縣	縣	縣	縣	縣	縣	縣	縣	縣	縣	縣	縣	縣	縣	縣	縣	縣	縣	縣	縣															

一、軍管區又ハ師管ハ夫々當該軍管區又ハ師管ニ在ル軍司令官又ハ師團長ノ管轄ニ屬ス
 二、本表中支應トアルハ支應長ノ管轄區域ヲ示スモノトス

何師管何聯隊區內在籍兵召集延期者名簿

昭和十七年六月一日調
應

別種	順位	從業	召集延期 理由	現官 (職名)	役種	總召年月 (現召年月)	兵種	部隊	徵集年	本籍地	氏名
甲	3/57	九一〇	何々	何	豫	(一、〇〇)	歩上	戰車隊	昭四	何市何町何番地	何某
甲	11/57	七〇八	何々	何	一補	三、〇二	歩上	步兵隊	何	何	何某
乙	33/57	六二二	何々	何	一補		歩		何	何	何某
乙	38/57	五、〇	何々	何	二補	二、〇一	兵技上		何	何	何某
乙	45/57	四、〇二	何々	何	二補				何	何	何某
乙	55/57	二〇八	何々	何	豫	(三、〇一)	野兵長	野砲隊	昭二	何	何某
甲	21/57	二〇五	何々	何	一國	(一、一一)	山一	山砲隊	何	何	何某
乙	54/57	三〇八	何々	何	二國				何	何	何某

調製上ノ注意

- 一、本名簿ハ陸軍ノ豫備役兵、補充兵役兵、第一國民兵役兵及昭和六年以降徵兵終決處分ヲ行ヒタル第二國民兵ニ付六月一日現在ヲ以テ調査記入スルモノトス
- 二、本名簿ハ本人本籍地(在留地)所管ノ聯隊區(兵事區)毎ニ別紙ニ調製ノ上師管毎ニ別紙ト爲スモノトシ師管、聯隊名ハ別表第二陸軍管區表ニ依リ記載スルモノトス
- 三、重要順位ハ豫備役、補充兵役ノ者、國民兵役ノ者別召集延期者人員ヲ分母トシ其ノ人員中ニ於ケル重要順位ヲ分子トシテ記入スルモノトス
- 四、年月ノ記入ハ「二年一月」ヲ「二、〇一」、「九年一月」ヲ「九、一〇」等ト記スルモノトス
- 五、召集延期ノ必要トスル理由ハ所掌事項及配置名等ヲ簡明適切ニ記スルモノトス
(必要缺クヘカラサル業務ニ従事シアルニ因ル)等ハ理由ニナラザルモノトス)
- 六、應召年月ハ支那事變以後ニ於ケル通算應召期間(應召、召集解除ノ月ハ夫々滿一月トシテ通算ス)ヲ記スルモノトス
- 七、現役兵出身ノ豫備兵及第一國民兵ニ在リテハ現役兵トシテ「在隊」セシ年月ヲ括弧ヲ附シ併記スルモノトス此ノ現役年月ハ應召年月ニハ關係ナキモノトス
- 八、服務部隊ハ現役中服務セシ部隊(既教育補充兵ニ在リテハ教育ヲ受ケタル部隊)名ヲ步兵隊、搜索隊、騎兵隊、戰車隊、野砲隊、山砲隊、騎砲隊、野戰重砲隊、重砲隊、白砲隊、高射砲隊、迫撃隊、情報隊、氣球隊、工兵隊、鐵道隊、電信隊、師團通信隊、航空隊、輜重隊、自動車隊等ト記スルモノトス但シ兵技兵、航技兵、衛生兵ニ在リテハ記入ヲ要セズ
- 九、帝國外ノ地(關東州、滿洲國、支那、香港及澳門ヲ除ク)ニ於テ職務ヲ執行スル者ハ種別欄ノ上部ニ「在外」ト記シ現官(職)名ノ欄ニ在勤地名ヲ「ベルリン」、「ローマ」等ト附記スルモノトス
- 十、本紙第二項ノイ資格表該當者ハ氏名欄下部ニ〇印ヲ附スルモノトス
- 十一、朝鮮(羅南、京城師管ニ區分ス)、臺灣、關東州、滿洲國、北支那、中支那、南支那、香港、澳門ニ在留スル者ニ在リテハ本様式中表題ヲ「羅南師管何兵事區(京城師管何兵事區)(臺灣何兵事區)(關東州及滿洲國)(北支那)(中支那)(南支那、香港及澳門)在留兵召集延期者名簿」ニ「本籍地」トアルヲ「在留地」ニ改メ本人ノ在留地ヲ明記スルモノトス
- 十二、服役第一年次ノ補充兵及國民兵ハ召集延期者ト爲サザルモノトス

何師管何聯隊區内在籍准士官、下士官召集延期者名簿

昭和十七年六月一日調
應 名

別種 順位	重要 年月	召集延期 スル理由	現官 (職名)	役種	應召 年月	部種 (兵種)	服部 隊務	徵集 年(在官)	本籍地	氏名	甲	乙	乙
											4/62	40/67	39/67
											九〇五	五〇二	五〇六
											何々	何々	何々
											何	何	何
											一國	豫	豫
											二〇五	一、一〇	四、〇三
											(歩)伍長	(野)軍曹	准主計
											歩兵隊	野砲隊	
											昭二	昭三	昭四
											何	何	何
											何	何	何
											某	某	某

調製上ノ注意

- 一、本名簿ハ陸軍ノ豫備役准士官、下士官、第一國民兵役下士官ニ付七月一日現在ヲ以テ調査記入スルモノトス
- 二、豫備役ノ准士官、下士官ハ前部ニ、國民兵役ノ下士官ハ後部ニ記スルモノトス
- 三、應召年月欄ニハ支那事變以後ニ於ケル應召ノ通算期間ヲ記入スルモノトス
- 三、様式第一調製上ノ注意二、三、四、五、七、八、九、十、十一ハ本様式ニ準用ス但シ憲兵、兵技、航技、主計、縫工、裝工、衛生、療工、獸醫務、軍樂准士官、下士官ニ在リテハ服務部隊ノ記入ハ要セザルモノトシ「兵召集延期者名簿」トアルハ「准士官、下士官召集延期者名簿」ト記スルモノトス

(昭和十七年五月八日海軍公報(部内限))

召集延期者異動名簿

(送付先)

昭和何年何月何日調
應

關係の有無	師管	聯隊區(兵事區)	異動ノ種類	理由	種別	重要位	從業年月	役種	應召年(現役)	兵種部官等級(在官)	本籍地	氏名
○	宇都宮	水戸	削除	死亡	甲	3/67	九、一〇	豫	二、〇二	歩上	水戸市何町何番地	谷太郎
	仙臺	新潟	追加	谷太郎ノ交代ニ從事	甲	3/67	四、〇五	何	何	何	何	川三郎
	東京	千葉	削除	轉籍	乙	39/67	五、〇六	豫	四、〇三	主計	千葉市何々	山次郎
○	宇都宮	前橋	追加	轉籍	乙	39/67	五、〇六	豫	四、〇三	主計	前橋市何々	山次郎
○	宇都宮	宇都宮	訂正	何々	何	何	何	何	何	何	何	何
	金澤	富山	削除	何々	何	何	何	何	何	何	何	何
	名古屋	岐阜	追加	何々	何	何	何	何	何	何	何	何

調製上ノ注意

- 一、本名簿ハ召集延期者名簿提出後異動アリタル場合調製スルモノトス
- 二、本名簿ハ關係師團司令部ニ對シ當該師團司令部用一通及當該師管內關係聯隊區司令部用各一通ヲ送付スルト同時ニ寫ニ通テ海軍省ニ送付スルモノトス
- 三、本記載例ニ付テ謂ヘバ送付區分ハ宇都宮師團司令部四通、(師團一、水戸、前橋、宇都宮聯隊區各一) 仙臺、東京、金澤、名古屋師團司令部各二通、海軍省二通ト爲ル
- 四、本記載例ハ宇都宮師團司令部ニ送付スヘキ分ノ記載例ニシテ關係ノ有無欄宇都宮師管ノ行ニ關係アル旨〇印ヲ以テ標示ス
- 五、削除、追加ハ記載例通併記連接スルモノトス
- 六、追加者ニハ本紙第二項ノイ資格表該當者ヲ之ニ充ツルモノトシ氏名欄下部ニ〇印ヲ附スルモノトス
- 七、細部ノ記載要領ハ様式第一乃至第三調製上ノ注意ヲ準用ス

(限 内 部)

海軍公報 (部内限) 號外

○判決

判 決

昭和十七年六月八日(月)
海軍大臣官房

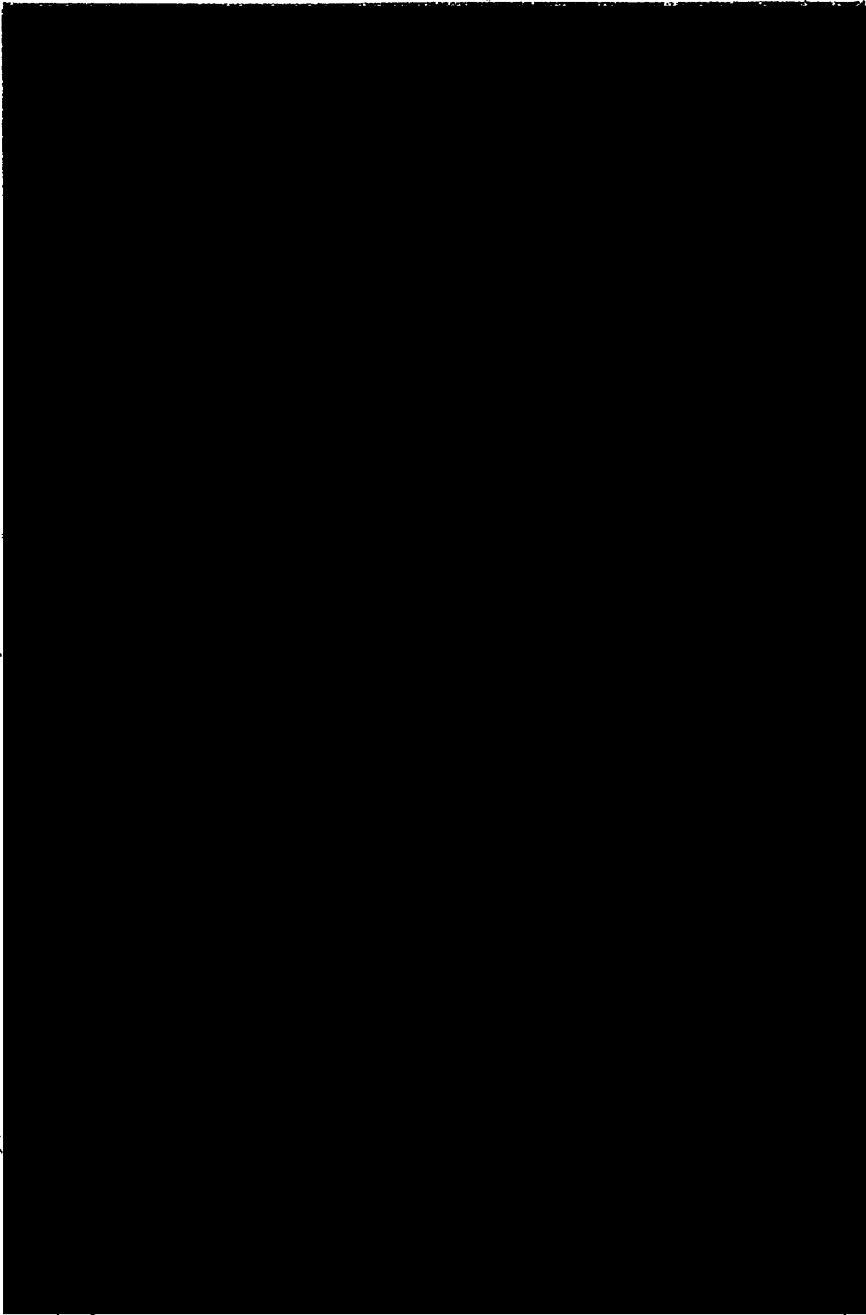
0277

海軍公報 (部内限) 號外

海軍公報 (部内限) 號外

0278

海軍公報 (部内限) 號外



0279

海軍公報 (部内限) 號外

四

0280

海軍公報 (部内限) 號外

五

0281

海軍公報 (部内限) 號外

六

0282

海軍公報 (部内限) 號外

七

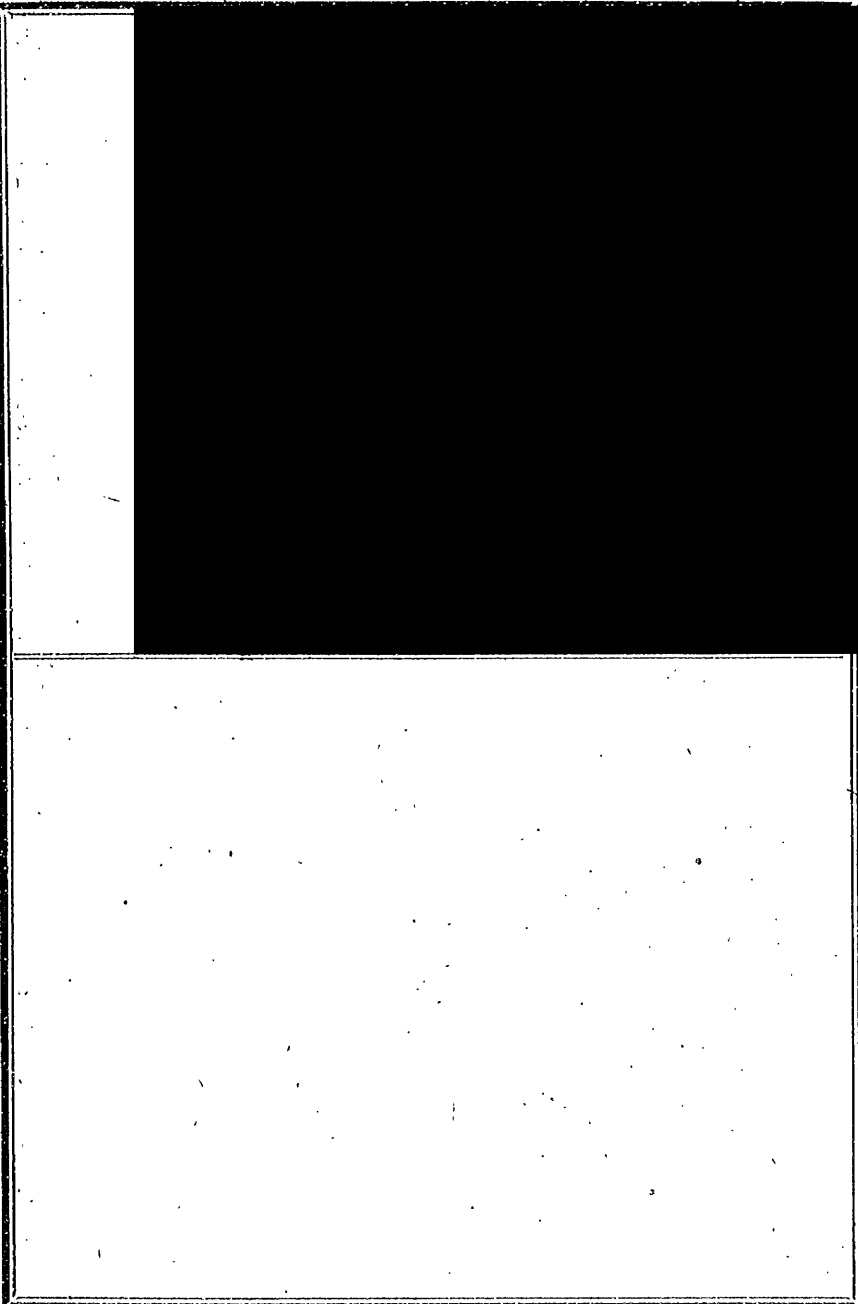
0283

海軍公報 (部内限) 號外

八

0284

海軍公報 (部内限) 號外



九

0285

0286

(限 内 部)

海軍公報 (部内限) 第四千百十一號

海軍大臣官房

昭和十七年六月九日(火)

○令 達

官房機密第七六三六號

當分ノ間艦營需品經理規程第三十三條ノ規定ニ依ル艦營需品出納報告(書式第十六號其ノ一)ハ海軍兵備品會計規程第三十五條所定ノ兵備品出納計算書ノ備考欄ニ當該年度内ノ供給數量ヲ附記シタルモノヲ以テ之ヲ代用スルコトヲ得

昭和十七年六月九日

海軍大臣

○通 牒

官房機密第一二八〇號ノ一二

昭和十七年六月九日

海軍省 副官

關係廳長殿

郵便物ニ關スル件通牒

官房機密第一二八〇號通牒首題ノ件別冊郵便物ニ關スル例規中左記ノ通改メラレ候

記

第一號(七)ノ(ロ)項中父島ノ次ニ「鳥羽」ヲ加フ
附錄 所在地區別符表(其ノ三) 中ニ

サ バ ン イ 貳 參 ヲ

同 部隊區別符表(其ノ一) 末尾ニ

第十三 設 營 隊	ウ 壹 四 參
第五 氣 象 隊	ウ 壹 四 四
第八十五 通 信 隊	ウ 壹 四 五
第八十五 潛 水 艦 基 地 隊	ウ 壹 四 六
第二 航 空 隊	ウ 壹 四 七

同 部隊區別符表(其ノ三) 末尾ニ

海軍公報(部内限) 第四千百十一號 昭和十七年六月九日

五九七

海軍公報(部内限)第四百百十一號 昭和十七年六月九日

五九八

第十四設營隊 イ四八 フ加へ

同 (其ノ四) 中「分遣隊(セ四九)」
ヲ「分工場(セ四九)」ニ改ム

兵備三機密第三號ノ一〇五ノ三

昭和十七年六月九日

海軍省兵備局長

關係艦隊參謀長殿

艦隊ノ行動秘匿措置ニ關スル件通知

客年七月八日附兵備三機密第六四七號ヲ以テ通知置候
首題ノ件申暗號病名ノ使用ハ從來「第十八臨時」ノ如
ク臨時ノ文字ニ番號ヲ冠シ居リタル處都合ニ依リ暗今
「臨十八」ノ如ク番號ニ臨ノ文字ヲ冠スルコトトシ既
ニ設置ノ暗號局ハ順次新病名ニ變更可致旨遞信省ヨリ
通知有之候條了知相成度

(昭和十六年七月九日本欄参照)

○ 辭令

內務事務官 安井 久
同 百田 正弘

(各通)

南西方面艦隊司令部附ヲ命ス <small>(六〇〇海軍省)</small>	同	神田 坤六
第十二特別根據地隊附屬航空部隊ニ要スル給與及其 ノ他ノ經費支拂ノ爲艦隊經費臨時分任出納官吏ヲ命 ス <small>(海軍支田官 海軍省經理局長)</small>	同	小介 政博
第二十三驅潛隊ニ要スル給與及其ノ他ノ經費支拂ノ 爲艦隊經費分任出納官吏ヲ命ス <small>(二十六〇同)</small>	同	藤原 重正
第二十一特別根據地隊バタバ派遣隊ニ要スル給與 及其ノ他ノ經費支拂ノ爲艦隊經費臨時分任出納官吏 ヲ命ス	同	石澤 守雄
海軍主計大尉 菊地 圭次	同	重枝 義三郎
海軍主計中尉 岸 又一	同	養老 綾雄
海軍主計中尉 岡田 健一	同	湯淺 定時
海軍主計兵曹長 松瀬 保男	同	
右同臨時分任出納官吏ヲ免ス <small>(以上三〇〇同)</small>		

<p>海軍主計大尉 家門 承三 大阪海軍監督官事務所及受持区域内ニ在ル艦裝具事務所ニ要スル經費及材料物品購入費支拂ノ爲資金前渡官吏ヲ命ス</p>	<p>海軍主計少佐 青木 益次 資金前渡官吏ヲ免ス 佐世保鎮守府第五特別陸戰隊 久津輪 幸吉 第一分遣隊海軍主計特務中尉 佐世保鎮守府第五特別陸戰隊 中川 敬一 隊第二分遣隊海軍主計少尉</p>	<p>各頭書ニ要スル給與及其ノ他ノ經費支拂ノ爲艦隊經費臨時分任出納官吏ヲ命ス(以上一六四同) 海軍主計中佐 新井 實 中華民國漢口方面ニ於ケル材料物品準備購入費支拂ノ爲臨時資金前渡官吏ヲ命ス(一六四同)</p>	<p>○雜款 ○司令驅逐艦變更 第五驅逐隊司令ハ五月十六日司令驅逐艦ヲ松風ニ變更セリ ○郵便物發送先 自今左ニ依リ發送相成度</p>
<p>司令宛 軍醫長宛 隊機關長、主計長宛 松風 春風 朝風 (第五驅逐隊)</p>	<p>○試驗問題發送 第四十三期高等科看護術練習生採用試驗問題 右六月三日左記ノ通發送濟、未着又ハ必要ノ向ハ至急通知相成度</p>	<p>記 一 聯合試驗參加各部ノ分ハ横須賀海軍人事部長及大湊警備府副官宛送付セリ 二 單獨試驗施行ノ各部ニハ直送セリ 三 聯合試驗參加豫定ノ艦船ニテ行動豫定變更其ノ他ノ都合ニ依リ聯合試驗不能ノ向ニ對スル分トシテ横須賀海軍人事部長宛若干部送付シ置ケリ (横須賀海軍病院)</p>	<p>○事務引繼 大阪海軍監督官事務所資金前渡官吏六月一日事務引繼ヲ了ス 新任 海軍主計大尉 家門 承三 前任 海軍主計少佐 青木 益次 ○事務所撤去 伊勢防備隊事務所ヲ六月十日撤去ス</p>

海軍公報(部内限) 第四千百十一號 昭和十七年六月九日

0289

海軍公報(部内限) 第四百百十一號 昭和十七年六月九日

六〇〇

追テ郵便物ハ

三重縣志摩郡鳥羽町 鳥羽郵便局氣付

(伊勢防備隊)

海軍公報 (部内限) 第四百百十二號

海軍大臣官房

昭和十七年六月十日(水)

○ 令 達

官房機密第七一〇七號

昭和十六年官房機密第一二六三九號中左ノ通改正ス

昭和十七年六月十日

海 軍 大 臣

第一項第二號中「沖ノ島」ノ上ニ「得撫島以北ノ千島諸島又ハ」ヲ加フ。

同項第三號中「小笠原諸島」ノ上ニ「前號ニ該當セザル千島諸島又ハ」ヲ加フ

附 則

本令ハ昭和十七年五月十五日以後ノ給與ニ付之ヲ適用ス

○ 辭 令

海軍豫備少尉 今西 武夫

辰神丸ニ於ケル業務ヲ囑託ス (海軍省)

海軍特務中尉 柿本 利平次

支那方面艦隊ニ於ケル事務囑託ヲ解ク (三三〇同)

内務技師 佐藤 利恭

吳海軍建築部ニ於ケル業務囑託ヲ解ク (三三〇同)

和賀井 章 平

(各通)

小 島 勇

支那方面艦隊ニ於ケル事務囑託ヲ解ク (以上三三〇同)

平本 康 平

神戸地方海軍運輸部ニ於ケル事務ヲ囑託ス

藤本 俊 一

但シ報酬年額千六百五拾圓ヲ給シ部内限奏任官待遇トス

野村 正 治

大阪地方海軍運輸部ニ於ケル事務ヲ囑託ス

野村 正 治

但シ報酬年額千百參拾圓ヲ給シ部内限奏任官待遇トス

トス

壹岐 健 夫

海軍運輸部ニ於ケル事務囑託ヲ解キ神戸地方海軍運

輸部ニ於ケル事務ヲ囑託ス

但シ報酬年額千四百七拾圓ヲ給シ部内限奏任官待遇トス 田中雄次郎

海軍省兵備局ニ於ケル事務囑託ヲ解キ大阪地方海軍運輸部ニ於ケル事務ヲ囑託ス

但シ報酬年額千八百貳拾圓ヲ給シ部内限奏任官待遇トス(以上同)

支那方面艦隊ニ於ケル水先業務囑託ヲ解ク(同)

吳海軍建築部ニ於ケル業務囑託ヲ解ク(同)

海軍省事務囑託ノ報酬トシテ金貳拾五圓ヲ贈與ス

海軍省事務囑託ヲ解ク 同 杉浦 雅

海軍省事務ヲ囑託ス(同)

臺灣總督府地方技師 祐村 巖

馬公海軍建築部ニ於ケル事務囑託ヲ解ク(同)

(各通) 赤木 貞一 津田 榮太郎

海軍省事務ヲ囑託シ部内限奏任官待遇トス(以上

(同)

海軍中佐 下山 二郎
海軍少佐 伊東 藤雄
海軍整備特務中尉 前田 柳一
海軍機關特務中尉 鶴野 政東
石上 全尙
石原 喜平
黒岩 利雄
大澤 祐太郎
大堀 修一
福田 巖
關谷 泰平
神谷 博義
徳久 佐太郎
石橋 熊次
桑原 一郎
杉山 義郎
篠田 七四郎
小原 清廣
平戸 幹次
大内 良雄

海軍公報(部内限) 第四千百十二號 昭和十七年六月十日

北村健次	飯島勇	勝部良三	富山一男	原安房	中野政一	米澤峰藏	岡本直樹	若林好藏	鈴木兵助	關俊信	田代守	神保銚生	竹崎修	田林正吉	中垣惣次	揚村末内	中山健次郎	谷川忠義	岡本端	黒木正明
------	-----	------	------	-----	------	------	------	------	------	-----	-----	------	-----	------	------	------	-------	------	-----	------

海軍豫備中尉

仲村勇	神部健之助	楠田敬助	斧和夫	松林吉明	犬伏万平	青木清衛	大賀山太郎	小暮博夫	内尾鶴生	清水典雄	小田切達夫	鈴木正一	角園鐵雄	武宮清秀	川越武光	水野哲夫	甲高與三郎	立松正	遠藤三枝	初谷四郎
-----	-------	------	-----	------	------	------	-------	------	------	------	-------	------	------	------	------	------	-------	-----	------	------

六〇三

(各通)

海軍公報(部内限) 第四百百十二號 昭和十七年六月十日

陳潤澤	田中英雄	田澤隆	宮脇茂雄	村崎位工	小堀益三	城水晴男	吉村安太郎	菊地留吉	梅澤末男	佐藤末勳	宮原正敏	青木清	片岡孝	野尻幹男	三森正直	齋藤茂	遠藤久藏	松波義辰	大坪實	大野博
-----	------	-----	------	------	------	------	-------	------	------	------	------	-----	-----	------	------	-----	------	------	-----	-----

飯村捨五郎	深澤源久	松本勳	齋藤一	百瀬治	鳥谷部與三郎	小松武雄	淺山正喜	岡山盛一	藤澤駒平	宮下末吉	古家幾譽治	茂木四朗	杉山五郎	野口糺	新貝源次郎	吉本ツル	今井敏雄	田中忠義	武舍實雄	高島滋夫
-------	------	-----	-----	-----	--------	------	------	------	------	------	-------	------	------	-----	-------	------	------	------	------	------

六〇四

大山	永井	片平	中村	小野	鈴木	安西	川上	羽山	先崎	大澤	遠藤	石川	鈴木	野中	渡久地	福山	田名部	加藤	片岡	秋山
隆	芳雄	繁男	健一	貞隆	浩太郎	繁雄	晋	豐治	民彌	秀一	義郎	元規	辰二	修	政福	篤	福太郎	眞	虎男	喜作

御子神	羽鳥	東川	米川	佐藤	川上	永田	藤井	田淵	石川	蒲田	市川	高木	徳岡
卓	清九郎	章	勇次	貞雄	臻	利夫	文助	壽郎	忠光	六郎	大治郎	惇	敏男

海軍省事務嘱託ヲ解ク(註明同)
 海軍豫備少尉 藤井 文助
 支那方面艦隊ニ於ケル事務嘱託ヲ解ク(註明同)
 内務技師 田淵 壽郎
 横須賀海軍建築部土木業務嘱託ヲ解ク(註明同)
 石川 忠光
 南西方面艦隊民政府ニ於ケル事務ヲ嘱託ス
 但シ報酬年額千八百圓ヲ給シ部内限奏任官待遇トス
 第一南遣艦隊ニ於ケル業務嘱託ヲ解ク
 海軍少將 市川 大治郎
 農林技師 高木 惇
 陸軍中尉 徳岡 敏男
 海軍省事務ヲ嘱託ス

海軍公報(部内限)第四千百十二號 昭和十七年六月十日

六〇五

(各通)

海軍省事務ヲ囑託シ部内限奏任官待遇トス

吉村 象治郎
古部 永藏

海軍省事務ヲ囑託シ部内限判任官待遇トス

加藤 清六

軍令部ニ於ケル調査事務ヲ囑託シ部内限奏任官待遇トス(以上^{十五}月同)

櫻井 一郎

(各通)

海軍省事務ヲ囑託シ部内限奏任官待遇トス(二十五^月同)

杉浦 文雄
重松 修

遞信局技師 田川 亨

遞信局技手 末永 富吉

同 米澤 春男

同 萩原 嘉三郎

線路工員 近井 捨藏

同 小野 泰一

同 金子 祐一郎

同 内山 政一

同 上岡 多八

同 高橋 善

(各通)

同 今井 富次

同 小峰 菊次郎

同 鈴鹿 房芳

同 諏訪原 金藏

同 大和田 孝之

同 近藤 國太郎

同 山内 淺吉

同 太田 正二

同 井上 良平

同 赤松 高次郎

同 水越 俊夫

同 中込 章

機械工員 坂井 武藏

同 岡田 芳雄

同 片野 三郎

同 上田 幸一

同 高久 重正

同 永井 英

同 大村 林

同 岩堀 新一

同 面田 陽一郎

第二南遣艦隊司令部附ヲ命ス	
同	遠藤 則一
同	山本 和吉
同	河西 富雄
遞信局技師	水野 貢
遞信局技師	伊具 曉
同	藤井 信男
同	大森 春吉
同	小山 勝次
同	土本 金一
同	勅使河原 節
同	松井 領一
同	平林 昌之
同	長瀬 貞治
同	降旗 勳男
同	宮内 勝司
同	西澤 貞懿
同	五寶 藤松
同	南保 清一
同	坪野 正雄
同	水田 重夫
機械工員	

第一南遣艦隊司令部附ヲ命ス	
同	傳田 主計
同	分部 正吾
同	武居 清吉
同	寺内 直一
同	岡島 豊一
同	高森 諭三
遞信局技師	宮田 政雄
遞信局技師	太田 晏
同	松田 林
同	柳井 春一
同	三石 清一
線路工員	石村 吉松
同	大谷 儀助
同	今井 捨楠
同	藤川 久吉
同	中村 重一
同	幡田 理三郎
同	山野 芳太郎
同	辻中 捨松
同	辻井 榮藏

(各通)

海軍公報(部内限) 第四百百十二號 昭和十七年六月十日

六〇七

(各通)

第四艦隊司令部附ヲ命ス

同	線路工員	塩 飽 清
同		山下 傳
同		山村政之進
同		石出 精一
同		林 恒平
同		高柳 敏雄
同		前田 竹治
同		川崎 市松
同		黒田 誠
同		岡崎 頼光
同	機械工員	大原 保見
同		橋本喜三郎
同		山本 應雄
同		井上忠二郎
同		澁谷 八三男
同		長澤 清夫
同		小林 稔
同		吉田 勇次
同		有田 喜三郎
同		島田 由一

(各通)

八百圓ヲ贈與ス

同	遞信局技師	富樫鐵太郎
同	遞信局技手	千葉 正
同		栗原 清忠
同	線路工員	稻村 輝
同		添田武輝知
同		佐々木 清治
同		佐々木 芳雄
同		高橋 興吉
同		工藤 養助
同	機械工員	長谷川 義男
同		淺野 正男
同		庄子 留吉
同		山内 彦吉
同	通信書記	牧野 豪一
同	第三南道艦隊司令部附ヲ命ス(以上同)	
同	第三海軍軍用郵便所員ヲ免ス(九月同)	
同	海軍機關中佐	根岸 幸生
同	海軍武功調査委員ヲ命ス	
同	大阪帝國大學教授	赤崎 繁
同	海軍技術研究所ニ於ケル研究業務ヲ囑託シ報酬年額	
同	八百圓ヲ贈與ス	

正五位勳六等 松山 武秀
海軍技術研究所ニ於ケル研究業務ヲ囑託ス

但シ報酬年額百圓ヲ給シ部内限奏任官待遇トス

九州帝國大學教授 神中 正一

横須賀海軍病院ニ於ケル研究業務ヲ囑託シ報酬年額七百圓ヲ贈與ス

東京帝國大學教授 茂木 武雄

海軍技術研究所ニ於ケル研究業務ヲ囑託シ報酬年額七百五十圓ヲ贈與ス

(各通) 農林技師 矢嶋 敏彦
遞信局書記 東 正隆

海軍省事務ヲ囑託ス

勳七等 富名腰 尙友

馬公海軍軍需部ニ於ケル業務ヲ囑託シ部内限奏任官待遇トス

陸軍少尉 安積 樟三

海軍艦政本部ニ於ケル業務ヲ囑託ス

海軍中將 出光 萬兵衛

(各通) 海軍少將 日暮 豊年

海軍機關特務中尉 田村 喜一郎

海軍省事務ヲ囑託ス

在 原 至 誠
大湊警備府ニ於ケル醫療業務ヲ囑託シ部内限奏任官待遇トス

永田 藤次郎

軍令部ニ於ケル事務ヲ囑託シ部内限奏任官待遇トス

正五位勳六等 松居 吉應

海軍省事務囑託ノ報酬トシテ金貳百圓ヲ贈與ス

海軍省事務囑託ヲ解ク

正四位勳三等 福田 庸雄

海軍省事務ヲ囑託シ部内限勅任官待遇トス

海軍豫備少佐 小林 要三

同 桑原 三郎

同 高野 武平

同 海軍豫備大尉 小池 徳夫

同 増田 吾助

同 山田 實藏

海軍豫備中尉 吉森 良三

海軍豫備少尉 檜谷 志一

大阪警備府ニ於ケル水先業務ヲ囑託ス

辻 高三

大阪警備府ニ於ケル水先業務ヲ囑託シ部内限奏任官

待遇トス

宮武 辰夫

南方政務部兼海軍省調査課事務ヲ囑託シ部内限委任
官待遇トス

遞信技師 鶴見 嘉一

同 村井 愛太郎

同 船津 重太郎

同 井出 清

同 翠川 信遠

同 吉見 惣一

同 高橋 勝

同 内牧 哲雄

同 遞信屬 佐藤 千代喜

同 榎本 正治

遞信技手 國廣 和作

同 佐藤 喜一

同 青木 新次

同 土谷 宇三四

遞信局技手 佐藤 格

通信書記 松本 豊武

海軍省事務囑託ヲ解ク

(各通)

旅順方面特別根據地隊事務囑託

古藤 金次郎

自今報酬年額貳百四拾圓ヲ給ス(以上^{同上}同)

海軍中佐 由川 周吉

第一課兼第二課勤務ヲ命ス

海軍屬 櫻井 一夫

兼第一課附ヲ命ス(以上^{同上}海軍省兵備局)

海軍機關中佐 根岸 幸生

第二課勤務ヲ命ス(以上^{同上}海軍省人事局)

海軍主計兵曹長 矢野 鐵造

第二十一通信隊ニ要スル給與及其ノ他ノ經費支拂ノ
爲繼隊經費臨時分任出納官吏ヲ命ス

海軍主計兵曹長 伊藤 忍

右同臨時分任出納官吏ヲ免ス(以上^{同上}支出官 海軍
省經理局長)

海軍中將 高須 三二郎(艦 本)

海軍中佐 藤本 傳(同)

同 稻田 良人(同)

同 室田 勇次郎(同)

同 瀬戸 喜久太(軍 令)

同 堀之内 美義(軍 務)

(各通)

同	岡	三知夫(艦本)
同	堀	武雄(吳廠)
海軍少佐	中島	清次(伊一夫潛)
海軍大尉	荒木	淺吉(同)
海軍機關中佐	熱田	佐太郎(艦本)
同	濱野	軍一(吳艦)
同	渡邊	次郎(吳艦)
同	伊藤	喜六(吳廠)
海軍機關少佐	中村	威(軍務)
同	魚住	順治(艦本)
海軍機關大尉	岡本	貞一(伊一夫潛)
海軍造船中佐	松本	喜太郎(艦本)
海軍造兵大尉	海藤	雅美(同)

伊號第七十六潜水艦審議委員ヲ命ス(以上皆海軍艦政本部)

○ 雜 款

○司令潜水艦變更
第二十一潜水隊司令ハ五月二十日司令潜水艦ヲ呂號第三十四潜水艦ニ變更セリ

○郵便物發送先
自今左ニ依リ發送相成度

軍事普通郵便 佐世保郵便局氣付
軍事航空郵便 臺北郵便局經由

第七海軍軍用郵便所
追テ第一水雷隊ハ解隊サレ居ルニ付鴻、隼宛書類ハ各艇宛直送相成度爲念

(水雷艇 鴻、隼)

○殘務整理

沖島殘務整理ハ六月五日横須賀海軍通信隊内ニ於テ事務ヲ開始セリ
追テ郵便物ハ横須賀海軍通信隊内能美部隊事務所宛送付相成度

(能美部隊殘務整理主任)

0300